

臨床倫理から考える障害者支援の研修会 開催要項

1 目的

医療分野においては、価値観の対立から生じる治療決定上の問題のことを倫理的課題といい、臨床場面での治療決定は患者・家族の人生や生死に関わることさえある。判断基準は常に明確とは限らず、唯一絶対の正答があるわけでもないため、患者と向き合うなかで起きる問題を、倫理的な視点から検討する取り組み（臨床倫理）が行われている。

倫理的課題を考える際には、患者を取り巻く家族、保健医療福祉サービスに関わる専門職など、すべての関係者がそれぞれの立場や価値観を尊重し、患者又は利用者等に応じた最善というゴールに向かって共に考えて、答えを出していくこととなる。各々の意見に相違が生じることがあっても、多様な価値観をいろいろな角度から一つの問題を考えることで、より客観的に正しい解決方法に近づいていく可能性がある。

本研修では、医療分野における臨床倫理の観点から、障害者等に応じた最善とは何か、意思決定支援や人生会議をどのように展開させていくか、等について学ぶことを目的とする。

2 主催

砺波地域障害者自立支援協議会
砺波圏域障害者基幹相談支援センター

3 日時

1日目 令和6年1月23日（火） 10：00 ～ 11：45
2日目 令和6年1月25日（木） 10：00 ～ 11：45

4 開催方法

会場での対面形式、及び Zoom を利用したオンライン形式（ハイブリッド型研修会）

5 開催場所及び定員

会場受講： 南砺市地域包括ケアセンター2階 多目的ホール（定員50名）
オンライン受講： 各事業所（定員なし）

6 対象者 ※2日間の研修となるため、両日受講可能な方を受講対象とする。

- ・ 砺波地域障害者自立支援協議会に所属する協議会委員(24)、専門部会員(36)、委員会委員等(25)
- ・ 〃 サービス事業所連絡会に所属するサービス事業所サビ管等(100)
- ・ 〃 相談支援事業所連絡会に所属する相談支援専門員等(7)
- ・ 3市障害福祉計画策定委員会 委員(47)
- ・ 3市行政福祉担当課 担当者(3)
- ・ 3市社会福祉協議会 担当者(3)

7 内容

1日目 講義 「臨床倫理の基礎理解」
講師 南砺市民病院 病院長 清水 幸裕 氏

2日目 講義 「臨床倫理を通して意思決定支援や人生会議の在り方を理解する」
講師 南砺市民病院 病院長 清水 幸裕 氏

8 申込み

- ・参加申込書に必要事項を記入し、FAX またはメールで申し込む。

〆切 : 1月16日(火)

9 その他

- ・配布資料等は研修3日前までにメールで送信する。
- ・Zoom 操作に不安な方を対象とした事前テストを2回程度設ける。
- ・感染症対策として適宜換気を実施する。